



MIFAフェスタ「われら地球人」

秋の恒例事業となっているMIFAフェスタはログハウスを会場1998年から毎年開催。MIFAフェスタはJICA筑波で日々研修を重ねている各国の研修生とMIFA会員などが互いの文化を学び、交流する場となっ

ています。毎回、JICA研修員やJICA関係者、協力団体をはじめMIFAの講座受講生やスタッフなど約200人の参加者があり、楽しく相互交流をしています。

第12回 2009(平成21) 9.27

参加者 約200人



第13回 2010(平成22) 9.29

参加者 約160人



第14回 2011(平成23)10.16

参加者 約200人



東日本大震災被災者への応援一色となりました

第15回 2012(平成24)10.14

参加者 約300人



JICA筑波の研修生が民族衣装を着用しての参加

第16回 2013(平成25)10.20

参加者 約200人



第17回 2014(平成26)10.16

参加者 約200人



第18回 2015(平成27)10.18

参加者 約230人



第19回 2016(平成28)10.16

参加者 約230人



第20回 2017(平成29)10.22

参加者 約230人





イヤーエンドパーティー

毎年12月に開催されるイヤーエンドパーティー。コンサートやショーなど、さまざまなプログラムが企画され、会員が楽しみにしている行事の一つとなっています。



ブラジル音楽コンサート 2010(平成22)12.11



国際理解の一端として、「ピカイア・パンデイロ・スペシャル」によるブラジル音楽

マジック&コンサート 2015(平成27)12.20



「柏マジッククラブ」によるマジックと「YY to KK」によるミニコンサート

コンサート 2016(平成28)12.10



同時開催された大使講演会の講師、パナマ共和国リッテル・ディアス特命全権と奥様の踊り

ミニコンサート 2011(平成23)12.10



「YY to KK」によるミニコンサート

マジック&コンサート 2012(平成24)12. 8



「柏マジッククラブ」によるマジックと「YY to KK」によるミニコンサート

マジック&コンサート 2017(平成29)12.16



「柏マジッククラブ」によるマジックと「YY to KK」によるミニコンサート

アメリカン カントリーミュージック 2018(平成30)12.16



Bluegrass Holiday Pickersによるアメリカブルーグラス音楽演奏

マジック&コンサート 2013(平成25)12.14



「柏マジッククラブ」によるマジックと「YYto KK」によるミニコンサート

マジック&コンサート 2014(平成26)12.20



「柏マジッククラブ」によるマジックと「YY to KK」によるミニコンサート



クリスマスパーティー
(1990-1998)

- 1990(平成 2)12.15
- 1991(平成 3)12.15
- 1992(平成 4)12.19
- 1993(平成 5)12.18
- 1994(平成 6)12.17
- 1995(平成 7)12. 9
- 1996(平成 8)12.14
- 1997(平成 9)12.13
- 1998(平成10)12.19

イヤーエンドパーティー
(2000-2008)

- 2000(平成12)12. 9
- 2001(平成13)12. 8
- 2002(平成14)12.14
- 2003(平成15)12.13
- 2004(平成16)12. 4
- 2005(平成17)12. 3
- 2006(平成18)12.16
- 2007(平成19)12.15
- 2008(平成20)12.13



姉妹都市との交流 ドイツ バイエルン州 マインブルク市

マインブルク市と守谷市(当時守谷町)は1990年11月3日に姉妹都市締結を調印。マインブルク市はドイツ南部のバイエルン州にあり、ビールに欠かせない世界一良質なホップの産地として知られています。それら

のホップは守谷市内のアサヒビール工場にも輸出され、守谷市とマインブルク市をつないでいます。マインブルク市とは、姉妹都市調印後から約30年間、市民どうしの交流が活発に行われています。



姉妹都市締結20周年記念 マインブルク市民来市 2010(平成22)10.31-11.5



守谷市とマインブルク市の姉妹都市締結20周年を記念して、ドイツのマインブルク市から訪問団が来市。記念式典後の市民交流会では、MIFAが合唱を披露しました。マインブルク市からは市長や副市長、市議会議員など12人が来市、守谷市からは市長やMIFA会員など130人が参加しました。浅草や皇居などの見学(はとバスツアー)に同行し交流を深めました。



守谷市制10周年記念 マインブルク市民来市 2012(平成24) 4. 7



マインブルク市副市長と子息、市民代表者と令嬢が守谷市主催の「守谷市市制10周年記念式典」に参加するために来市されました。MIFAは、市民どうしの交流を深めることを目的として交流会を行いました。



MIFA設立25周年記念事業 マインブルク市訪問 2013(平成25)10. 1 - 10. 7



MIFA設立25周年を記念して、MIFA会員11人がマインブルク市長を表敬訪問。会田市長(当時)、小川会長の親書を届けました。滞在中は、マインブルク市役所関係者、市民活動家とともに市内を見学するなどし、交流を深めました。



マインブルク市制60周年記念訪問

2014(平成26) 8. 7



マインブルク市制60周年を記念してマインブルク市を訪問。守谷市民の福田敏子さん手作りの吊るし飾りをお土産に持参しました。守谷市に来たこともあるマティアス・ゲベンドルファーさん(写真右)がミュンヘンからマインブルクまで送迎してくれました。



姉妹都市締結25周年記念 マインブルク市民来市 2015(平成27)11. 4 - 11.10

姉妹都市締結25周年を記念してマインブルク市から市長、副市長、市議会議員、一般市民など17人が来市。訪問団の滞在中、MIFAは交流会の開催や山中湖への観光など、より一層交流を深めました。



市民間の交流



キリアンさんの妹アリーナさんと、いとこのレアさんが来市。青年部とボウリングやお好み焼きをして交流を深めました。



黒帯保持者のキリアンさんが来市の際、講道館へ案内しました。



姉妹都市との交流 アメリカ コロラド州 グリーリー市

グリーリー市と守谷町(当時)が姉妹都市締結を調印したのは、1993年8月3日です。グリーリー市との縁は守谷町青少年海外派遣事業を行うにあたり、コダック社コロラド工場に大変お世話になったことから始ま

ります。そのことがきっかけとなり、グリーリー市と姉妹都市を結ぶことになりました。第4回青少年海外派遣の折、会田町長(当時)と小川会長が現地を訪れ調印しました。



姉妹都市締結20周年記念 グリーリー市民来市

2013(平成25) 6. 6



守谷市による姉妹都市締結20周年記念式典前の市民交流会で、MIFAは着物の着付け、箏、茶道などの文化交流を行いました。

グリーリー市からは市役所職員、市議会議員、学生など約10人、守谷市からは市役所職員や、MIFA会員など約30人が参加しました。



グリーリー市長 来市

2015(平成27) 6. 4



姉妹都市を締結して22周年。今回はグリーリー市長が来市してホームステイされ、交流が一段と深まりました。MIFAは文化交流会を開催し、着物の着付け、箏の演奏、茶道、投扇興などで日本文化を体験していただきました。



市民の相互交流会

2017(平成29) 6. 8



グリーリー市議会議員ご夫妻と青少年を中心とした一行が来市。MIFAは文化交流会を開催し、着物の着付け、生け花、箏や茶道などの日本文化を体験していただきました。



ノーザンコロラド大学生 来市

2018(平成30) 5.26

グリーリー市にある、ノーザンコロラド大学から学生10人と引率者2人が来市。MIFAはログハウスにて歓迎会を開催しました。大学生の皆さんには着物の着付けや生け花、茶道やお箏、投扇興などを体験しても

らいました。守谷滞在中はホームステイをして市民とも交流したり、中学校でALTの活動を学ぶなど、将来のために見聞を広げました。



立礼式の茶道体験



守谷市内の中学校でALTの活動を体験するノーザンコロラド大学の学生



ラオスとの交流

1997年にMIFAのメンバーを主力として「茨城県青年海外協力隊を育てる会」が設立されました。当初から協力隊員の現場を視察し、息の長い支援と交流をし

ようと絞り込まれたのがラオスでした。MIFAとラオスとの交流は、1999年から始まり、第1回スタディツアー以降、約20年間切れ目なく交流が続いています。



2001年11月、ラオス招聘の第1期生とログハウスの前で

2001年MIFAが初めてルアンパバーンのC.C.Cから生徒10人を招聘し、第9回世界を知るシリーズ「ラオスデーin守谷」を実施。ラオス大使館から参事官を招き、大使講演会も同時開催しました。(引率者：ブンコンさん／原田恵津子さん)この招聘実現までに1999年6人(5人がMIFA)でビエンチャンの日本大使館とJICA事務所を訪問し、2000年にラオスへスタディツアーを実施。その折、ルアンパバーンのC.C.Cで元協力隊員だった守谷出身の原田恵津子さんと出会い、今日までにC.C.Cから生徒・指導者のべ50人を招聘しています。



MIFA設立20周年記念式典にて餅つき体験



21世紀東アジア青少年大交流計画で来市したラオス国立芸術学校の生徒の皆さん
2009. 12.12-15

MIFAが初めてC.C.Cを訪問した際に出会った原田恵津子さんは偶然にも守谷出身でした。その後、原田さんから「生まれ育った村から一生外に出ない子も居るラオスの子どもたちに、日本を見せてあげたい、育成したい」という手紙がMIFAに届き、ラオスとの交流は始まりました。16年後の2018年7月、原田さんのお嬢さんが「ラオスデーin守谷」のためにオランダから来市してくれました。



ラオスと交流するきっかけとなった原田恵津子さん(後方中央)との出会い



左の写真では原田さんの膝に座っていた原田さんのお嬢さん(左から二人目)
2018. 7

2018年のMIFA設立30周年事業としてラオス招聘を行いました。ラオスのルアンパバーンにあるC.C.C(子供文化センター)から13人の高校生引率教師2人を招聘。7月26日から8月1日まで守谷市に滞



招聘にあたり、ルアンパバーンのC.C.Cで面接を実施
2017. 2.15

在しました。滞在中はホームステイをし、守谷市民との交流や東京観光をするなど有意義に過ごしました。



二次面接を実施
2017.11.24



C.C.Cの職員室で招聘メンバーを最終決定
2018. 2.18



招聘された子どもたちを家庭訪問
2019 3 .29



2018年7月に招聘した子どもたちがC.C.Cで歓迎してくれました
2019.3.28



2018年7月にラオス招聘で来市した際の写真集を持参楽しい思い出に盛り上がりました
2019. 3 .28



21世紀東アジア青少年大交流計画

2007年1月に開催された第2回東アジア首脳会議(EAS)において、安倍晋三総理大臣(当時)より表明された青少年交流事業。大規模な青少年交流を通じてアジアの強固な連帯にしっかりとした土台を与えることを目的として、EAS参加国(ASEAN、中国、韓

国、インド、オーストラリア、ニュージーランド)を中心に、5年間にわたり、毎年約6千人の青少年を日本に招くものです。MIFAはこの国家プロジェクトをもとにJICEからの要請を受け、2008年4月から交流活動を実施しました。



中華人民共和国より高校生が来市



2008(平成20) 4.17 - 21

「東アジア青少年大交流計画」での初めての受け入れとなりました。生徒20人、引率者4人という大所帯での来市。守谷高校の生徒と高校生どうしの交流を深めました。常総環境センターやアサヒビール工場の見学を通じて日本の公害問題への取り組みに強い感銘を受けた様子でした。



ラオス空手愛好青少年が来市



2009(平成21) 1.25 - 2. 4

空手を愛好するラオスの青少年13人が来市。守谷高校の生徒会が中心となり交流を深めました。全国レベルの剣道部が練習する場面に大変感動した様子でした。ログハウスで行われた交流会では、全員に和服を着てもらい、箏の演奏を体験してもらいました。空手の演技や民族舞踊も披露されました。



日本・ラオス伝統芸能交流会 ～ラオス国立芸術学校生徒が来市～



2009(平成21)12.12 - 15

21世紀東アジア青少年大交流計画・日メコン交流年の記念公演「虹の舞」が東京国際フォーラムで開催されました。そこに参加したラオスの国立芸術学校の生徒一行と守谷市の伝統芸能グループが交流事業を行いました。



インド日本語学習青少年が来市



2010(平成22) 6.25 - 27

大使館選抜のインド日本語学習青少年を受け入れることになりました。一行は、日本語弁論大会優秀者、エッセイコンテスト優秀者、中等教育での日本語成績優秀者など日本語学習経験者、また、日本や日本語に関心が高い人が多く選ばれていました。



ラオス国民議会事務局担当者20人が来市



2011(平成23) 3. 2 - 4

日本の議会制度に関する理解と、日ラオス間の議会交流の促進を図るため、ラオス国民議会事務局担当者20人が来日。国会を訪問し、国政レベルの議会運営を研修。その後、地方行政の仕組みを学ぶため守谷市と議会を訪問。県政を学ぶため茨城県庁と県議会を訪問しました。帰国直後に東日本大震災がありました。



ラオス青少年が来市



2019(平成31) 3.19 - 26

しょうへい
招 聘に際し、在ラオス日本国大使館が希望者を募集し、約260名の応募がありました。教育・スポーツ省と大使館が書類選考と面接試験を実施し、高校生11人と大学生10人が選ばれました。日本の高校生との日本文化を通しての交流や、市役所訪問、アサヒビール工場見学などを体験。ホームステイで守谷市民とも交流しました。